

指定管理施設事業評価票(令和6年度分)

1. 施設所管課 観光経済 部 観光 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市温泉保養センター「かたくりの湯」		
	所在地	日光市町谷1866番地1		
指定管理者	名称	一般財団法人 日光市公共施設振興公社		
	代表者名	代表理事 斎藤 信義		
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日		5 年間	
選定方法	公募		評価実施年	5 年間のうち 4 年目
施設設置目的	市民の保養と健康の増進を図り、かつ、観光事業の振興を図るため			
主な実施事業	1. かたくりの湯の使用許可に関する業務 2. かたくりの湯の施設、附属設備等の維持管理に関する業務			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 施設利用者(無料・減免入場者含む)	人	119,000	63,061	119,000	80,844	119,000	94,840	119,000	87,907		
b 施設利用者満足度調査	%	85	100	85	100	85	100	85	100		
c 利用料収入	千円	26,000	12,830	26,000	17,275	26,000	19,589	26,000	17,255		
d											
e											

4. 指定管理業務にかかる収支状況

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入計	A	66,967,333	70,180,010	71,087,837	64,258,962	0
指定管理料		49,087,685	50,977,863	49,759,715	45,818,149	
利用料収入	C	12,830,162	17,275,330	19,589,620	17,255,960	
自主事業収入		897,932	1,322,795	557,500	384,525	
その他		4,151,554	604,022	1,181,002	800,328	
支出計	B	68,459,826	73,167,920	72,849,678	58,295,408	0
指定事業費		68,126,064	72,782,678	72,387,678	57,933,178	
内人件費	D	30,187,396	27,459,274	27,325,469	23,756,163	
内外部委託費	E	7,473,950	9,915,280	10,005,696	4,320,260	
自主事業費		333,762	385,242	462,000	362,230	
事業収支	A-B	333,762	-2,987,910	-1,761,841	5,963,554	0
人件費率	D/B	44.10%	37.53%	37.51%	40.75%	#DIV/0!
外部委託比率	E/B	10.92%	13.55%	13.73%	7.41%	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	令和6年度エアコン工事による休館があった為、利用料金および利用人数は昨年よりすくなくなります。
	修繕を源泉給湯配管修理、券売機新札対応ユニット交換、浴槽超音波ポンプ修理など、15件実施いたしました。

サービス改善の状況

①コロナウイルスなどの感染症予防のため、換気や消毒作業などを毎日実施しております。
②日光市外の利用促進としてJAF会員割引利用が年間427人、チラシ割引利用が年間132人ありました。
③市民の健康増進などに寄与するヨガ教室や体操教室を実施し、令和6年度はのべ202人の参加がありました。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B	B
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B
②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	C
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
③安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	C
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	①日光市民への体験施設利用割引で684人、健康増進事業でのべ202人の利用がありました。			
	②市外の方はJAF割引で427人、チラシ割引で132人の利用がありました。			
	③昨年度より利用者が(エアコン工事による休館期間を除き)増加しておりますが、さらなるサービスなど心掛けて、事業を進めてまいります。			
	(所管課評価) 施設の老朽化が激しい中、こまめに巡回、点検を実施し故障を未然に防いでおり、軽微な修繕については指定管理者で対応し、経費の削減に努めている。管内清掃も丁寧にしており、清潔さを常に保つことができている。エアコン工事による休館の期間を除いて、利用客、利用料金とともに増えている。引き続き、自主事業の実施やチラシ配布(市内コンビニでの設置など)による誘客宣伝に注力し指定管理最終年を務めてほしい。			
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

- | | |
|------|--|
| 評価基準 | A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。 |
| | B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。 |
| | C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。 |

※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。

※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。

- | | |
|--------------------------------|--|
| 総括評価 A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上 | 総合評価 A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。 |
| B(良好) = A、C以外 | B(良好) = A、C以外 |
| C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上 | C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。 |